

## 別紙1

## 事務事業評価(中間評価)シート【令和5年度】

主管課名(担当名)	健康福祉部社会福祉課社会援護担当		
事務事業名	地域福祉補助事業	事業番号	10078
重点プロジェクト	<input checked="" type="checkbox"/> 該当 <input type="checkbox"/> 非該当	評価時期	<input checked="" type="checkbox"/> 中間 <input type="checkbox"/> 事後
		事務区分	<input checked="" type="checkbox"/> 自治 <input type="checkbox"/> 法定受託

## 1 施策体系

施策体系との関連	施策区分	1-8 地域福祉の充実
	施策目標	地域で互いに助け支え合うまち

## 2 事務事業の概要と目的

対象	事務や事業が対象としている人や団体など	ボランティア団体等
	対象者の今後の予想	拡大
活動内容 (事業の概要や具体的な内容、方法など)	根室市地域福祉基金から生ずる益金を運用し、在宅福祉の向上、健康及び生きがいづくりの推進、その他地域福祉の推進を図るため民間団体が行う事業に要する経費に対して、予算の範囲内で補助金の交付を行う。 (令和5年度実績 5団体5事業に対し補助:根室市社会福祉協議会・希望の家・根室のより良い介護を目指す懇話会、根室ケアマネージャー連絡協議会、じい〜んこども食堂)	
意図 (どの様な成果を得ようとしているのか)	ボランティア活動などの体験を通じて、地域福祉に関する意識の高揚を図り、地域全体で支え合う体制づくりを構築する。	

## 3 事務事業の現状

活動指標名	計画値 (H27)	実績値					目標値 (R2)	目標値 (R7)
		R1	R2	R3	R4	R5		
1 補助団体数	5団体	5団体	3団体	5団体	5団体	5団体	7団体	9団体
2								
3								
4								
事業費 (=下記内訳計)				R5予算		R5決算		R5予算
				1,557		1,327		
内訳	国道支出金			0		0		
	地方債			0		0		
	その他			0		0		
	一般財源			1,557		1,327		
人員(人工)				0.03		0.03		
職員人件費		(=人員(人工) × 7,455 千円)	223		223			
総事業費 (=事業費+職員人件費)				1,780		1,550		
単位コスト実績値 1 (=総事業費÷成果実績値)				356		310		
単位コスト実績値 2 (=総事業費÷成果実績値)				-		-		

#### 4 事務事業の見直し状況や行政課題など

(事前評価にかかげた課題について記入)

見直し状況	<input checked="" type="checkbox"/> 検討中 <input type="checkbox"/> 見直し・改善済み <input type="checkbox"/> 見直しをしたが改善に至っていない <input type="checkbox"/> 検討していない
見直しの内容など	<p>本事業は、地域福祉基金を原資として実施する補助事業であり、現在そのまま使用すると、令和10年度頃には基金の枯渇が想定される。</p> <p>地域福祉への貢献が高く一般財源として予算化するべきと認められる事業は経常費へ移行し、新たな事業の呼び込みを積極的に実施したり、今後の財源の検討を現在進めている。</p>
今後の動向・市民ニーズなど	<p>ボランティア活動等の地域福祉事業の実施は、地域の人々のつながりを作り、人々が安心して暮らせるような社会づくりに貢献できる者であり、今後も重要な活動でニーズは高い。</p>

#### 5 事務事業の評価

ア. 意図する成果に有効に結びついていますか	<input checked="" type="checkbox"/> 結びついている <input type="checkbox"/> 一部結びついている <input type="checkbox"/> 結びついていない  団体によっては事業を拡充するなど、本事業の成果が見られる。
イ. 市以外がその事業に取り組むことは可能ですか(民間、NPO等)	<input checked="" type="checkbox"/> 可能 <input type="checkbox"/> 一部可能 <input type="checkbox"/> 不可能  市においては補助事業の原資として「根室市地域福祉基金」を活用しているが、他の団体においても、同様の原資があり、かつ地域福祉事業に対し助成する制度があれば、補助は可能である。
ウ. 事業内容の中で、見直しを行う必要はありますか	<input checked="" type="checkbox"/> ある <input type="checkbox"/> 一部ある <input type="checkbox"/> ない  今後の財源について検討中。
エ. 単位コストまたは事業費を工夫できるアイデアはありますか	<input type="checkbox"/> ある <input type="checkbox"/> 一部ある <input checked="" type="checkbox"/> ない  民間団体からの申請により補助金を交付する事業のため、難しい。
オ. 他の事業との統合について可能性はありますか	<input type="checkbox"/> ある <input type="checkbox"/> 一部ある <input checked="" type="checkbox"/> ない  現時点では、他に統合できる事業はないと思われる。
カ. 受益者に負担をいただく(又は負担を見直す)可能性はありますか	<input type="checkbox"/> ある <input type="checkbox"/> 検討の必要性がある <input checked="" type="checkbox"/> ない <input type="checkbox"/> 既に負担がある  補助率は補助対象経費の額に4分の3を乗じて得た額以内としており、4分の1が受益者負担となっている。

#### 6 事務事業の今後の方向性

今後の方向性	<input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま継続 <input type="checkbox"/> 見直しのうえで継続 ( <input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 手段を見直す <input type="checkbox"/> 効率化 <input type="checkbox"/> 簡素化 <input type="checkbox"/> 統合・振替 ) <input type="checkbox"/> 終期設定あり (R 年度末終了予定) <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 完了
--------	--

作成年月日

令和6年9月